

高トリプトファン含量イネの栽培

(栽培実験期間:平成22年度)

	確認項目	確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	本栽培実験では、隔離距離による交雑防止措置を行っています。研究所内の同種栽培作物までの距離が250mである事を確認しました(研究所外の最も近い農家の水田との距離は500m)。
	○選定場所について	実験区画の開花期の推定平均風速の算出値が毎秒3mを下回る事を確認しました。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について	低温にはならず、抑風措置は行わなかったことを確認しました。
	○モニタリング措置について	交雑の有無について、モニタリング用の指標作物の種子を82502粒調査した結果、交雑粒は確認されませんでした。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	実験種子を密閉容器に入れ、他の種子と分別して管理を実施している事を確認しました。また、出穂期の平成22年8月4日から平成23年1月12日までの間防鳥網を設置し、野鳥等の食害による拡散防止を行ったことを確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	実験区画専用の機械を含め実験区画内にて使用した機械等は区画内の洗い場において払い落とし及び洗浄を行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	収穫物については、ほ場で収穫後、籾の状態ですべて密閉容器に入れた後、品質評価棟の低温室で他の作物と区分して保管していることを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	稲わらは裁断後、鋤込みまたは焼却をし、不活化したことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	後作を行わないので必要がないことを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	計画書が平成22年3月19日に公表されたことを確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が平成22年4月9日に、田植え見学会が平成22年5月27日に、収穫見学会が平成22年10月8日に開催されたことを確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本実験の経過について16件の情報がホームページに掲載されていることを確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	本試験が平成23年1月26日に終了したことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備していることを確認しました。

作物研究所 隔離ほ場



図1. ほ場施設外観(平成22年4月9日撮影)



図2. 洗い場、焼却炉(平成22年4月9日撮影)



図3. ほ場外観(平成22年4月9日撮影)



図4. ほ場全景(平成22年7月8日撮影)



図5. 非遺伝子組換えイネ(平成22年7月8日撮影)

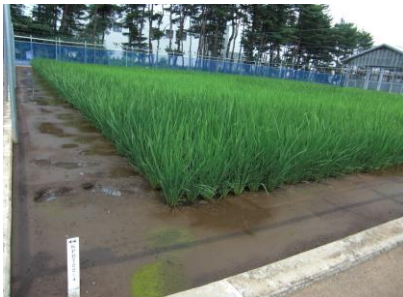


図6. 遺伝子組換えイネ(平成22年7月8日撮影)